

経営比較分析表

青森県 南部町

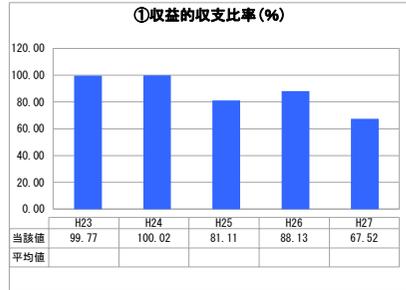
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.13	118.72	3.110

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,343	153.12	126.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,753	0.79	2,218.99

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

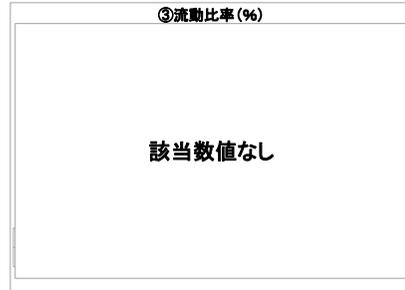
1. 経営の健全性・効率性



「単年度の収支」



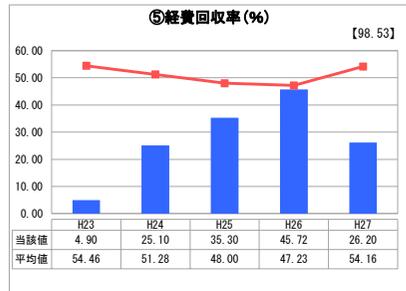
「累積欠損」



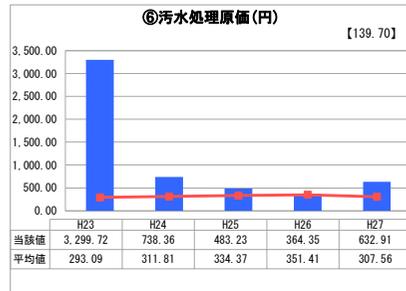
「支払能力」



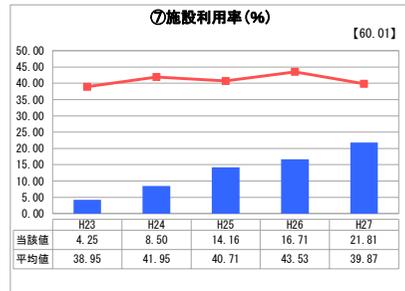
「債務残高」



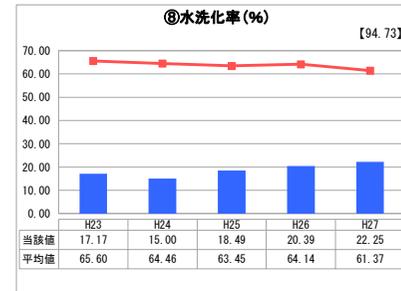
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

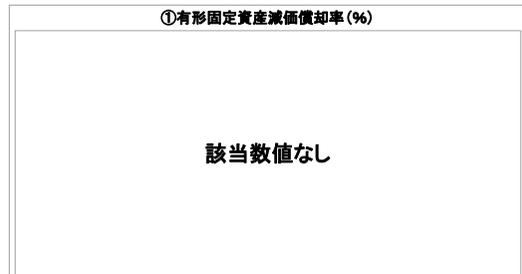


「施設の効率性」

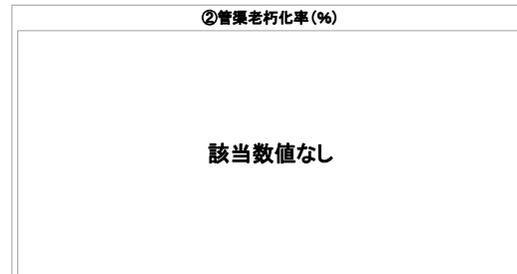


「使用料対象の捕捉」

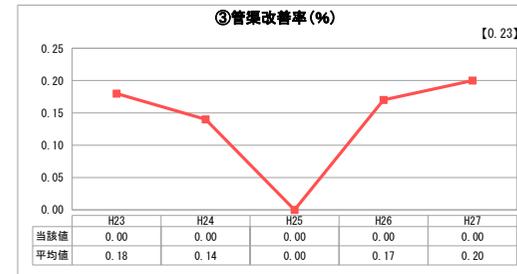
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

事業継続中であり、一部供用開始から5年しか経過していないため、ほぼ全てにおいて平均値を大きく下回っています。
今後、水洗化率、施設利用率の向上により、汚水処理原価は減速して行き、長期的に収支の均衡を図っていくように努めていきます。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、耐用年数を超えるのはまだ数十年後であり、また定期点検等による改善箇所が現在まだありません。
今後、耐用年数を超え老朽化していく管渠の改修更新が増加していくため、計画的及び効率的に整備を進める必要があります。

全体総括

事業継続中であり、一部供用開始から5年しか経過していないため、他会計繰入金の依存度は高く施設利用率、水洗化率ともに平均値以下です。
今後、下水道への加入促進による接続率の向上及び使用料金収入の増加により、平均値以上になるよう努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。